

とねまち 議会だより



あなたと議会を結ぶ広報紙



平成30年利根町消防出初式 ー佐々木町長（中央）を囲んでー

12月定例会

No. 141
2018. 2. 2

平成29年第4回議会定例会 (議決等結果 議案概要 討論)	2
町政のここが聞きたい(一般質問)	5
議会活動	10
行政視察受入 第7回議会報告会開催のお知らせ	11
議会日誌 (平成29年10・11・12月)	12
お知らせ	

平成29年第4回 議会定例会の議決等結果

会期 平成29年12月5日(火)～平成29年12月12日(火)
審議議案 町長提出議案14件(諮問1件含む)



議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛 成	反 対	大 越	新 井 (滄)	石 山	花 嶋	新 井 邦	坂 本	高 橋	今 井	五 十 嵐	若 泉	石 井	船 川	
議案第48号	利根町個人情報保護条例及び利根町情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第49号	利根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第50号	利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第51号	利根町長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	9	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
					討論										賛 反	—	
議案第52号	利根町国保診療所職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
					討論										賛 反	—	
議案第53号	稻敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第54号	平成29年度利根町一般会計補正予算(第4号)の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第55号	平成29年度利根町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第56号	平成29年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第57号	平成29年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第58号	平成29年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第59号	平成29年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案第60号	利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

「○」は賛成、「×」は反対、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。

議長(船川京子議員)は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。



平成29年第4回 議会定例会 議案概要

【町長提出議案】

議案第48号 利根町個人情報保護条例及び利根町情報公開条例の一部を改正する条例 …… 【原案可決】

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の改正により、個人情報の定義の明確化及び要配慮個人情報の取扱いの規定の整備がされたことに伴い、町の条例においても同様に改めるものです。

議案第49号 利根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 …… 【原案可決】

人事院規則の改正に伴い、非常勤職員の育児休業等に関する規定が改定されたため、町においても国に準じて職員の育児休業等に関する規定を改めるものです。

議案第50号 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 …… 【原案可決】

農地利用の最適化に向けた積極的な活動を推進するための農地利用最適化交付金事業の実施に伴い、農業委員会の活動実績等における報酬について定めるものです。

議案第51号 利根町長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 …… 【原案可決】

選挙公約に基づき町長の給料月額の減額を行なうものです。

議案第52号 利根町国保診療所職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 …… 【原案可決】

通常の診療業務に加え、地域医療確立の任を負う職員の医師手当を責任の増加と経験年数を考慮した額に改めるものです。

議案第53号 稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更について …… 【原案可決】

稲敷地方広域市町村計画の策定根拠であった広域行政圏計画策定要綱の廃止に伴い、組合規約を改めるものです。

議案第54号 平成29年度利根町一般会計補正予算(第4号)の専決処分について …… 【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ1,394万3千円を追加し、総額を55億465万7千円とするものです。歳入は県支出金で、歳出は総務費（10月22日執行衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査関連予算）です。

議案第55号 平成29年度利根町一般会計補正予算(第5号) …… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ4,437万5千円を追加し、総額を55億4,903万2千円とするものです。歳入の主なものは国庫支出金、県支出金、繰入金などで、歳出の主なものは民生費（保育所委託料支給事業）、農林水産業費（機構集積協力金交付事業）、教育費（小学校設備整備事業、公民館管理事業）などです。このほか、継続費補正（第5次総合振興計画策定業務・都市計画マスターplan業務委託）、債務負担行為補正（小学校児童通学用バス運行業務委託他）です。

議案第56号 平成29年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …… 【原案可決】

【事業勘定】予算額に歳入歳出それぞれ2,558万6千円を減額し、総額を28億6,433万8千円とするものです。主なものは後期高齢者支援金の減額により、減額分を財政調整基金に繰り戻すものです。

【施設勘定】予算額に歳入歳出それぞれ339万2千円を追加し、総額を1億1,916万5千円とするものです。歳入は諸収入で、歳出は医業費（医療用衛生材料費）などです。このほか、国保診療所医療事務及び日常清掃の業務委託に伴う債務負担行為補正です。

議案第57号 平成29年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号) …… 【原案可決】

町営霊園環境整備の業務委託に伴う債務負担行為補正です。

議案第58号 平成29年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号) …… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ545万2千円を追加し、総額を14億9,684万3千円とするものです。歳入の主なものは支払基金交付金、繰入金などで、歳出の主なものは介護予防・生活支援サービス事業費（第1号通所事業費）などです。

議案第59号 平成29年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) …… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ952万4千円を追加し、総額を3億8,337万2千円とするものです。歳入は諸収入などで、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金、一般会計繰出金です。

議案第60号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について …… 【同意】

地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものです。

諮詢第1号 人権擁護委員候補者の推薦について …… 【適任】

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。

人事案件

▼利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について

氏名 伊藤 恒夫 氏 任期 平成30年1月1日から平成32年12月31日まで

*固定資産評価審査委員会委員

固定資産評価審査委員会は、地方税法の規定により設置された中立的、専門的な第3者機関で、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定します。

委員は利根町の住民、町税の納税義務者又は固定資産の評価について学識経験を有する者の中から議会の同意を得て町長が選任しています。(利根町固定資産評価審査委員会委員：3人)



▼人権擁護委員候補者の推薦について（諮詢）

氏名 長田 律子 氏

*人権擁護委員

市町村長が推薦した方の中から法務大臣が委嘱します。人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済のほか、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。無報酬ですが、現在約14,000人が法務大臣から委嘱され全国の各市町村に配置されています。利根町では3人の方が人権擁護委員として活躍しています。

討論

第4回議会定例会に上程された議案等に対し、下記の討論がありました。

〈議案第51号 利根町長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例〉

反対討論 石井 公一郎 議員

質疑でもしたのですけれども、なぜ反対するかというと、選挙公約より随分後退した。それに高齢者の足の確保をするのだと、大利根交通とかいろいろな話をされたが、町長の任期中は、きちんと公約のとおりやるものだと思っておりましたので反対します。

賛成討論 若泉 昌寿 議員

私は町長選挙の時は佐々木候補とはいつも一緒に歩いた1人です。候補は高齢者の方々の足となる福祉バスを1台増車したいとの考え方から、町長報酬を半額にすることを言ったことは確かですが、4年間とは一言もいってはいなかった。私は佐々木候補のそばにいたので確信をもって言いきます。

〈議案第52号 利根町国保診療所職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例〉

反対討論 石井 公一郎 議員

医師手当を責任の増加、経験年数を考慮して、32年までに医師手当を30万円から60万円にする。当然医師は必要です。説明が12月5日、議会中になって説明しますと、降って湧いたような話をしてるわけで、説明不足もいいところで、施設勘定は黒字だからそれでよろしいのでしょうかけれども、どこを基準に32年までに60万円に、どの先生と比べて先生の給料が下がっているのか、現段階では時期尚早であるので、今回は反対します。

賛成討論 坂本 啓次 議員

利根町診療所の特別職員先生の手当が年々下がっていたことに驚きを感じた。それを見直して他市町村の水準に合わせ、先生の手当を上げることには賛成で、早急にやるべきと考え賛成するものです。

賛成討論 若泉 昌寿 議員

賛成の立場で討論します。
課長から説明を受けたとき、私も最初わかりづらかったことは確かです。今回の改正は先生の給与とは関係なく、今までの手当が年々下がっていくのでそれに対し新たな手当を出してあげることですので、私は当然と納得しましたので賛成します。

利根町議会会議規則の一部を改正

会議規則第89条（請願書の記載事項等）

施行日：平成29年12月14日

[改正経過]

請願提出の際に請願者から改正提言があったことを受けて、紹介議員が条文改正案の検討を重ね「全員協議会」で提案しました。請願者が請願しやすくなるように事務手続きの簡易化を図るためです。「全員協議会」において、他議員の質疑・意見の後、全議員の賛同を得たことから会議規則の一部を改正しました。

改正内容は次のとおりです。（下線部分）

〈改正前〉

請願書には、邦文を用い請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名（法人の場合には、
その名称及び代表者の氏名）を記載し、_____押印しなければならない。

〈改正後〉

請願書には、邦文を用い請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名（法人の場合には、
その名称及び代表者の氏名）を記載し、請願者が署名又は記名押印しなければならない。

▽請願書記載事項要件である押印規定について、改正前は請願される方の押印が必要でしたが、今回の改正により請願される方の署名か*記名押印のいずれかでよくなつたものです。

*記名押印…自署以外の方法で記載したもの。（代署、ゴム印、ワープロソフトなど）

町政のここが聞きたい

一般質問

(*このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 町長の報酬50%削減はいつか

答 30年4月から1年6ヶ月まで50%削減

今井利和議員

問 町長選挙で報酬50%削減することを公約しましたが、なぜ未だに果たさないのか、町民の声に応えなければなりません。議案第51号が上程され、報酬50%削減は、町長就任10ヶ月後の来年4月から29年度の予算を使い終わってから、報酬50%削減を図るとされています。なぜそこまで報酬50%削減を引き延ばさなければならないのか。公約である報酬50%削減を即できなかったのか、どのような理由があつたのかお聞きします。

報酬50%削減は1年6ヶ月の期間。4年間の町長就任中行うものと思っていた、と話す人が多くなっています。期限が過ぎればもとの報酬に戻すのですか。1年6ヶ月の期間が終了後、再度報酬50%削減の時限立法議案を上程されるのですか、お聞きします。

答 公約は、給料を半額にして福祉バスを増車するもので平成30年4月から5年リースで実施するものです。増車する福祉バスのリース料に見合う分を削減する。期間を1年6ヶ月とした。福祉バス増車の理由は、土曜日の運行方法や新しいルートの設定を行い利便性の向上につなげるため。利用者の皆様に満足していただけるよう準備期間をとったため。福祉バスの賃借料は5年間で466万8千円で、給料1年6ヶ月間を半額にした場合の削減額が福祉バスのリース代に見合う分になっている。



一般質問

問 道路整備の進捗状況について

答 設計が終わり地権者と話し合いに入る

坂 本 啓 次 議員

問 押戸、奥山からの県道立崎羽根野線への進入路拡幅道路計画の進捗状況について伺います。

答 今年度中には、道幅4mの道路整備を計画して、地権者に説明会を開くと稲敷土地改良事務所に確認したところです。

問 大房、立木十字路112号線の道幅拡幅整備工事の進捗状況について伺います。

答 今年度は用地買収中ですが、終わったら平成30・31年度で工事を行っていく予定です。また、中谷十字路までも前向きに進めています。

問 県道取手東線の羽中より中谷、立崎までの基盤整備内の道路に防犯灯が無いので設けられないか、通学路として中学生が利用している。

また、町内全体も街路灯や防犯灯が少なく暗いので、とくに防犯灯の増設についての考えを伺います。

答 区長等の要望で隨時検討してまいります。



問 住民自治基本条例制定の年次計画は

答 平成31年度策定を目指し作成に着手

五十嵐 辰雄 議員

問 町長の選挙公約「築こうあなたと未来の利根町」の基本理念は、町民参加や住民投票等を推進する制度が必要である。

住民自治基本条例は、自治体の仕組みの基本ルールを定めた条例で、自治を担う町民、町長・行政等の役割と責任、情報公開、計画・審議会への町民参加や住民投票等自治を推進するための制度化である。

策定作業の経過を問う。

答 「住民自治基本条例・対話型行政の推進」については、平成31年度の策定を目指し既に骨子案等の作成準備に着手。

新年度に住民の方々や有識者で構成する検討委員会を設け、住民説明会、パブリックコメントを実施、住民の意見を把握、条例等の制定過程や条例制定後の運用にあたつても住民の参加をお願いする考えである。

問 主要農産物である種子法の廃止による種もみの安定供給は可能であるか。

種子法は1952年に制定され、主要農作物とは稻、大麦、はだか麦、小麦、大豆で、全て都道府県に原原種圃場、原種圃場での生産や優良品種の試験、採種圃場の指定、審査を義務づけている。本町の基幹作物の種もみの安定供給に不安はないか。

答 種子法は2018年4月に廃止される。

主要農作物の種子の生産は、公益社団法人茨城県農林振興公社穀物改良部が主体となり、関係機関が協力し種もみの生産を行っている。

穀物改良部では、県の振興方針や各市町村穀物改良協会から提出された種子更新計画書、作物動向や種子の需要状況を踏まえ、計画的な生産と安定供給に取り組んでいる。同公社では、種子法廃止後も優良な種子の安定的な供給を担えるよう努めている。

問 町民運動会の見直しについて
答 区長会、諸団体に協力をお願いする

若泉昌寿議員

問 最近の町民運動会は参加者が少ない。以前は多くの町民が参加し1日を楽しむ過ごしていたが、今は団地が半数、子どもも、一部の参加で集落の方は全く参加なし。町の大きなイベントであるので多くの町民が参加してくれるよう、特に区長会に強くお願いしてはと思うが町の考えは。

答 町民運動会は昭和47年から町全体として開催している。20年ほど前から確かに参加者が減少し、最近では団地が5団地、子ども達と一部の参加者で900人ほどになっている。今後は特に区長会、諸団体の協力をお願いしていく。

問 利根町の産業は農業、米づくりです。現状を見ますと、農家の方々は米をつくり生計を立てていますが、米の価格は自

分では決められず、言われた値段で販売している。このような状況から町は利根町産の米をPRして町外の方々に買っていただけるよう考えるべきと思う。一つの案として、秋に豊作祭マラソン大会を開催すれば町外の人が多く集まってくれる。そこで米を販売すれば収入も得られ、PRにもなると思うが。

答 利根町産米のPRについては、成田空港の空市、地場産業フェスティバル等でPRしている。さらに東京で行われるふるさと茨城観光物産等に参加している。しかし、これだけではPR不足と考えている。豊作祭マラソン大会を開催することは大変と思われるが、今後よく検討して実現できるよう努力していく。



問 もえぎ野台へのバスの乗入れについて
答 ダイヤ改正の際に増便を検討する

大越勇一議員

問 大利根交通のもえぎ野台への乗入れについて伺います。現在もえぎ野台発、または経由している本数があまりにも少な過ぎます。またバス停に関しては、1カ所です。もえぎ野台のように広い住宅地では考えられません。今後、乗入れ本数を増便する対策をどのように考えているか。

答 乗入れ本数の増便については、先日職員が大利根交通自動車（株）に問い合わせ、もえぎ野台地区の住民から要望があることを伝え、増便に対する話を聞いてきました。その内容ですが、通勤利用者の減少やマイカー利用者の増加により、増便は難しいとのことでした。ただ今後のダイヤ改正の際には、若い世代が移住する、もえぎ野台地区の利用者の増加が見込まれるようであれば増便を検討したいとの回答をいただきました。

町としては、今後も大利根交通自動車

（株）に対し、もえぎ野台への乗入れを含め、便数の確保、増便等の働きかけをしてまいります。

問 高齢者福祉の助成について伺います。利根町は現在、高齢化率が40%を越えております。そこで、ひとり暮らしの高齢者が火災警報器や消火器等の購入時に、町で助成金を交付支給する考えはないか。

答 現在、高齢者個人への助成金はありませんが、利根町老人クラブ連合会と各地区単位老人クラブに対しては、活動費として毎年補助金を交付しております。また地域住民が主体となった介護予防活動の育成や支援のために介護保険の一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業として、住民交流通いの場事業を平成29年4月から開始しております。

一般質問

問 町長公約の進捗状況について

答 今後も住み良い町づくりに取り組む

花嶋 美清雄 議員

問 「免許証を返納しても安心の町、高齢者の足の確保」のための福祉バス導入の進捗状況を伺う。併せて町長報酬の半減が平成30年4月からなのか伺う。

答 福祉バスの増車は来年4月に運行できるよう準備を進めている。公約は町長給料を半額にして福祉バスを増車し、高齢者の足を確保するというものであり、増車を実施する平成30年4月から半額にする条例改正案を提案した。

問 どう支援すれば農家が成り立つのか、後継者不足を含めてお考えを伺いたい。

答 農家の方と話して状況を確認し、町単独事業のがんばる農業者支援事業に絡めながら支援を検討する。後継者不足については、まずは将来的に構想を持った農家の支援により、もうかるケースを作っていく必要がある。

問 英語サポート校設立の目的は

答 國際化社会を生き抜く力の育成である

問 受動喫煙防止法に伴う町内各施設の取り組み状況について伺う。

答 町敷地内禁煙の施設では灰皿を設置しておりらず、建物内禁煙の施設では人通りが少ない場所に灰皿を設置し喫煙場所を特定する等、各施設において禁煙対策に取り組んでおり、より一層受動喫煙防止の普及啓発を図っていく。

問 町所有財産の維持管理、運営方法について伺う。

答 庁舎敷地等の行政財産については所管課が管理し、宅地や山林雑地等の普通財産は財政課が管理しており敷地内の植栽等は職員による作業が困難な箇所については必要に応じ業者委託により実施している。

問 英語サポート校設立の目的は

答 國際化社会を生き抜く力の育成である

石山 肖子 議員

問 費用対効果という視点からの教育経済学という分野では、就学前の子どもへの投資が収益率が最大になる時期であるとの研究結果が出ている。「英語サポート校」設立構想は教育行政の中でどのような目的があつて、どのような位置を占めるのか。

答 「英語サポート校」は、教育行政の第一歩の取り組みとして考えており、国際化社会を生き抜く力の育成、子育てにやさしいまちづくり等、さまざまな目的を達成するための先駆けである。学校教育、社会教育、家庭教育の連携を図り進めていく第一歩として幼児期からの英語教育を柱とし、小中学校まで広げたり、他の教科の学習も行うこと等を考えている。

問 言語活動のなかで表現する力が衰える傾向にあるなか、多様な方と接しながら自分の考えを表現する環境設定という意

味では、国際交流事業に力を入れたほうが良いのではないか。

答 旧東文間小学校の教室で、住民の方や英語の得意な方との触れ合いの中から学んでいってもらう。町民に委員になっていただき話し合いをもって一番良いものを作っていくたい。

問 新教育委員会制度での町長が招集する総合教育会議の開催状況とその内容は。

答 平成29年度第一回総合教育会議を11月22日に開催した。義務教育学校、小中一貫校の検討を含めた将来に向けての小中学校適正規模・適正配置について協議した。



問 住民の行政参加について伺う

答 住民自治基本条例の制定を促進していく 新井 邦弘 議員

問 住民の自治意識を向上させ、自分達の町は自分達がつくるんだという意識を持たせるために、行政の一部に町民の参加を求める、町民が自発的に参加をするような啓蒙の考えはないか。国には行政手続法があるが、地方自治法には適用されないので、新たな施策を実施しようとするときどう考えるのか意向を調査し、どのような方策が考えられるのか伺う。

答 住民自治意識の向上、自発的な行政参加について、その必要性を強く感じる。実現するため住民自治基本条例の制定を住民、議会、行政のそれぞれの役割や住民の参画について規定し、住民の参加意識の向上を促進していきたいと考える。

問 今、地方自治体においては行政運営の中で住民参加を促すいろいろな建設的な意見、アイデアを生かそうという動きが

強まっている。しかし、住民と行政側で温度差がある。今、町で起こっている課題、町民が考えている課題、過疎地域に対してこれから利根町のあり方、これらを町ホームページに掲載し、町民のアイデアを募集する。現在、総合振興計画の策定時にワークショップを開催しているが、昼間の会議に参加できる町民は限られるので参加できない町民に対してどのように対応するのか。

答 20代から50代の参画が集まらないのが現状。何らかの手法を検討したい。

その中で、シティプロモーションを取り組んでいる町に対して興味を持ってもらうため、一般の住民の方のアイデア募集については、インターネット、SNS等は有効な方法であると思う。過疎地域になったので何か良い方法はないか、町民の多くの方が興味を持っていただき、そこに意見が出るような方法を検討していきたい。

問 種子法廃止、介護110番について

答 現行同様の優良種子安定供給に努める 新井 滉吉 議員

問 2017年3月4月、国民・マスコミの関心が森友学園問題等に向いている最中に、主要農作物（稻、大麦、はだか麦、小麦、大豆）種子法廃止が国会で決定された。9月に取手や牛久で開催された学習会や映画会でこのことを初めて知り私もびっくりしました。北海道はこの種子法を国が廃止しても北海道議会は独自に守ると決定しました。主要産業が農業の利根町や茨城県も北海道を見習って種子法を廃止するのではなく、日本の種を守る運動を作っていくないと私は思います。国はこの問題で各県に通達を出していますが、利根町にはどのような指導がありましたか。

答 主要農作物種子法廃止については、公益社団法人茨城県農林振興公社穀物改良部の平成29年6月の事業推進会議時に優良種子を安定的に供給することは農業経

営の重要事項のため、引き続き現行同様の役割を担えるよう努めるという説明がありました。

問 介護110番については、昨日の取手医師会の集会で、町民の要求に沿って利根町は先頭を走っていると思いました。利根町の認知症の近未来の予測を伺います。

答 利根町の65歳以上の高齢者数は平成29年6,722人、平成32年にはピークを迎えると推計。26年の「日本における認知症の高齢者人口推計に関する研究」によりますと平成27年の認知症の高齢者は1,021人、平成32年には1,250人、平成37年には1,379人と推計されています。



一般質問

問 災害時、町民に対し何が一番大事か

答 自分の身は自分で守る

問 災害時一番大事なことは、1万6千人の町民の生命を第一に守ること。弱者、障がいを持っている人、高齢者一人暮らしの人をいかに避難させるのか伺います。

答 町民第一ですから、自分の身は自分で守りながら、一緒になって避難する。

問 避難は自分の逃げ方、それを確立させること。どういう行動をとるかを事前に決めておく。そうすることで有事の際でも落ち着いて避難できると思うがどうか。

答 災害が起きたとき、自分はどう逃げるんだと一人一人がわかつてくれれば、スムーズに自分を守る道がわかる。

問 台風21号により利根町羽根野581番地1地先のマンホールから污水が溢れ、個人所有地に流れ込んだ。羽根野の町民の

石井 公一郎 議員

中には、井戸を使用している人もおり、衛生上非常に悪い。汚水の溢れた原因、公共下水道の維持管理点検は、二度とこのようなことを起こさない改善策はどうか。

答 直接の原因は強風により竹でポンプの電線が切断、通報装置の故障、初動対応が遅かった。今後二度とこのような事態が発生しないよう危機管理体制を十分に整えて、再発防止に努める。

問 国民健康保険は平成30年4月1日から県へ運営移管で、国民健康保険税はどのように変わらるのか伺います。

答 県が市町村ごとに「医療費水準」「所得水準」から標準税率を算定し納付金額を提示する。提示された金額を払うことになるが財政調整基金を活用し、税率は変更しない方針です。

議会活動

議員活動

平成29年度 県南町村議会議員大会

報告 五十嵐 辰雄 議員

平成29年10月25日（水）、河内町農村環境改善センターにおいて県南町村議会議員大会が開催されました。大会開催にあたり、議会人として地方創生の実現を目指し、一致結束し果敢に行動する旨の大会宣言を採択した後、・東日本大震災及び熊本地震からの復旧、復興と大規模災害対策の確立・地方創生の更なる推進・道州制導入阻止と分権型社会の実現・町村財政の強化・議会機能の強化・農業、農村振興対策の強化を期するなどのほか14の事項にわたり決議しました。

また、次の講演を聴講しました。

講演：「自分を生きるということ」

講師：作家クレヨンハウス代表 落合 恵子 氏



委員会活動

厚生文教常任委員会視察研修（わーくはぴねす農園 柏ファーム）

報告 花嶋 美清雄 厚生文教常任委員長

平成29年10月10日、千葉県柏市にある「わーくはぴねす農園柏ファーム」を訪れました。障がい者雇用を促すサービスを展開し注目を集める企業「(株)エスプールプラス（東京都千代田区）」が運営する施設のひとつで、平成12年に千葉県市原市に開設した6700坪の農園のほか、現在は千

葉県内に9カ所、愛知県に1カ所の施設を運営し、約750名の障がい者が小松菜やチンゲンサイなどの栽培といった農作業に取り組んでいます。私達が訪れた際にも、20歳位の青年がイキイキと働く姿がとても印象的でした。また、定着率は95%に上り、その中でも就職が難しい知的障がい者が71%を占めているということに目を見張りました。

障害者雇用促進法により、事業者には障がい者の雇用が義務付けられていますが、実際に雇用されるのは身体障がい者が多く、知的・精神障がい者の雇用が進んでいないのが現状です。同社はここに着目し、都市近郊に障がい者が働きやすいビニールハウスの農園などの設備を整え企業へ貸し出すとともに、そこで働く障がい者を紹介しています。事業者は農園を借り、そこで働く障がい者を社員として雇うことで自社の雇用率に加算できる仕組みになっており、現在は約150社がこの事業を利用しています。その結果、事業者がより多くの障がい者を雇用し、今まで就労のハードルが高かった知的・精神障がい者の雇用が促進されることでしょう。

「わーくはぴねす農園柏ファーム」へは我孫子駅から送迎バスがでており、茨城県在住の就職者も増えています。給与は月約10万円。取手市から通っている方は「満足。仕事も楽しい」という話をしていました。またご家族からも「ありがたい。自立の芽が出てくる。居場所ができた」と、喜びの声が聞かれます。今後は送迎方法の充実が図られることで更にニーズが高まっていくものと思います。

多くの農地を有する我が利根町は、首都圏に拠点を置く事業者のアクセスの良さがメリットです。障がい者の就労の場の提供と農地活用の取り組みのひとつとして、大きな可能性を感じた一日となりました。



行政視察受入

他自治体の議会議員が当町に視察に訪れ、事業及び施策などを視察されました。

平成29年10月30日

北海道余市町議会（民生環境常任委員会）

【研修内容】

- ・介護予防の取り組みについて
(シルバーリハビリ体操の取り組み状況など)



第7回議会報告会開催のお知らせ

利根町議会では、町民の皆様に開かれた議会を目指し「議会報告会」を開催しています。

議会報告会は、定例会・臨時会の議案審査内容の説明や議会活動状況を町民の皆様に報告するとともに情報や意見の交換を行う場として開催するものです。

皆様からいただきました議会活動等に対するご意見などについては、今後の議会運営への参考とさせていただきます。

どなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしております。事前の申し込みは必要ございません。

▼日 時 平成30年4月21日（土） 午後1時30分～午後4時30分

▼場 所 利根町役場1階 多目的ホール

利根町議会日誌（平成29年10・11・12月）

活動内容		活動内容
10月		11月
2	議員及び正副企業長視察研修（茨城県南水道企業団）（～3日）	7 平成29年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
3	県南町村議会議長会（第3回）	8 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会平成29年度組合議会行財政視察研修（～10日）
4	利根町小学校陸上記録会	10 平成29年度第9回利根町老人クラブ連合会演芸大会
〃	役員・評議員研修（利根町社会福祉協議会）	12 第34回利根町長杯バレーホール大会
〃	平成29年度第2回利根町男女共同参画推進協議会	15 全員協議会
8	第46回利根町民運動会	16 平成29年度国民健康保険運営協議会委員研修会
10	厚生文教常任委員会視察（わーくはびねす農園柏ファーム）	17 平成29年度ハーモニートップセミナー
13	平成29年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会総会	18 利根町立文間小学校創立10周年記念式典
15	第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南部地区大会	20 地方自治法施行70周年記念式典
17	広報編集委員会	23 県南町村会視察研修会（～25日）
18	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会	25 布川小学校創立10周年記念式典及び学習発表会
19	平成29年度町村議長行政視察（～20日）	28 平成29年度利根町建設業協会通常総会
24	第31回国保カップゲートボール大会	29 議会運営委員会
25	平成29年度県南町村議会議員大会	〃 利根町国民健康保険運営協議会
26	利根町小・中学校音楽を楽しむ会	30 つくば市市制30周年記念式典
27	平成29年度第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会	
28	第1回利根町グラウンド・ゴルフ大会	
〃	平成29年度取手地区地域安全運動推進大会	
30	北海道余市議会民生環境常任委員会行政視察研修会受入	
31	平成29年度利根町観光協会臨時総会	
〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修（～11月2日）	
11月		12月
2	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会	5 平成29年第4回議会定例会（～12日）
3	第34回利根町テニス大会	〃 国民健康保険の制度改革及び国保診療所職員の特殊勤務手当に関する説明会
〃	第33回利根町文化祭（～4日）	〃 全員協議会
〃	第10回利根町地場産業フェスティバル	13 利根町交通事故ゼロ連続3000日達成セレモニー
		20 平成29年度第2回利根町高齢者保健福祉・介護保険運営協議会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回の12月定例議会の傍聴者は延べ49名でした。

次回の定例議会は3月1日（木）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

発行責任者／利根町議會議長 船川 京子

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

編集担当／高橋 一男・若泉 昌寿